

令和 3 年度 第 4 回上下水道事業経営協議会
議事にかかる御意見・御質問 まとめ

令和4年1月28日
静岡市上下水道事業経営協議会

令和3年度 第4回上下水道事業経営協議会 御質問への回答

No.	議事	御質問	回答
1	議事(2) 令和2年度 評価報告書 (案)につ いて	【政策5 信頼させる経営を確立する。(2) 職員の技術習得①各種 研修の充実】 前回話題にあがった研修であるが、協議会では研修対象は正規職員 のみに限られているように拝聴したが、施設管理業務などの現場をみると 委託の方が数多く従事している。委託職員の扱いについては委託者に 委ねているとのことであるが、局が主体となって実施する必要はないのか。 (狩野委員)	回答課 水道施設課・下水道施設課 施設の運転管理業務については、民間活力の有効活用を目的とし、かつ運転管理に関する高い 技術力をもった民間企業及び配置技術者を対象に入札を実施しているため、当局が対象としている 民間企業では十分な経験を持った技術力の高い有能な社員を業者の責任において配置していま す。したがって、当局が受託者へ研修等により教育を実施することは行っておりません。
2	報告(2) 令和4年度 上下水道局 当初予算編 成方針につ いて	コロナ関連を盛り込む方針が示されていないようですが、大丈夫でしょ うか。(狩野委員)	回答課 経営企画課・下水道総務課 「令和4年度上下水道局当初予算編成方針」は、令和3年6月に閣議決定した国の「経済財 政運営と改革の基本方針2021」(「骨太の方針2021」)を考慮し、決定しました。 「骨太の方針2021」では、日本経済の構造改革を戦略的に進め、ポストコロナの持続的な成長基 盤を作る』としており、その成長を生み出す原動力として「カーボンニュートラル」や「デジタル化推進」等 を掲げています。 上下水道局においても、これらの新たなニーズへの対応について、積極的に予算を配分することとし、 重点項目として「カーボンニュートラル」「デジタル化推進」を追加しました。 特に「【重点項目3】デジタル化推進」では、非対面・非接触型の窓口サービスの構築に向けて最 新技術の整理やコスト試算、費用対効果などの総合的な検討を進め、サービス導入計画の策定を 進めます。 なお、職場でのコロナ感染予防に関する経費については、既存の予算内で対応していきます。

令和3年度 第4回上下水道事業経営協議会 御質問への回答

No.	議事	御質問	回答												
3	その他意見・質問	どの程度になれば“渇水”と判断するのか教えてください。（渇水対策本部等を設置するのはどのような状態になってからですか。）（狩野委員）	<p>回答課 水道施設課</p> <p>渇水とは、降雨のない日が続き、水源地の取水量が減少し、井戸等の他水源による調整等を行っても、必要配水量を確保できない状況を指します。 水源の取水状況等は常時モニタリングしており、安倍川水系・興津川水系において、下記の基準を下回ると渇水対策準備会及び渇水対策本部を立ち上げます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画取水量</th> <th>渇水対策準備会 設置基準の取水量</th> <th>渇水対策本部 設置基準の取水量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安倍川</td> <td>55,290m³/日</td> <td>47,000m³以下/日</td> <td>43,500m³以下/日</td> </tr> <tr> <td>興津川</td> <td>83,900m³/日</td> <td>83,900m³以下/日</td> <td>76,000m³以下/日</td> </tr> </tbody> </table>		計画取水量	渇水対策準備会 設置基準の取水量	渇水対策本部 設置基準の取水量	安倍川	55,290m ³ /日	47,000m ³ 以下/日	43,500m ³ 以下/日	興津川	83,900m ³ /日	83,900m ³ 以下/日	76,000m ³ 以下/日
	計画取水量	渇水対策準備会 設置基準の取水量	渇水対策本部 設置基準の取水量												
安倍川	55,290m ³ /日	47,000m ³ 以下/日	43,500m ³ 以下/日												
興津川	83,900m ³ /日	83,900m ³ 以下/日	76,000m ³ 以下/日												
4	その他意見・質問	和歌山県で起きた水道橋崩落事故について、わが市では同様の事故が発生した場合、対策は万全でしょうか。懸念材料はありますか？（狩野委員）	<p>回答課 水道管路課</p> <p>本市では、10月3日に和歌山市にて発生した、水管橋崩落事故を受け、10月4日から5日にかけて、市内の水管橋口径（30cm）以上の109箇所について、目視による緊急点検を実施しました。その結果、漏水や部材の腐食等の異常は見られませんでした。 本市では和歌山市のような大規模な水管橋はありませんが、今後も点検調査を継続的に行い、大規模漏水の発生前の対応を徹底することで、お客様への安定給水を確保していきます。</p>												

議事(1) 令和2年度 施策等の進行管理 施策の外部評価意見まとめ

No.	御意見
1	外部評価意見はほぼ網羅されていると思いますので、特に意見はないです。
2	基本的には、わが市の上下水道事業は現在多岐にわたる問題点を抱えるものの、円滑に推移していると思う。特に水道管・施設の地震対策や浸水対策などおおむね良好で、市民に安全安心な水の提供と万全な下水処理が今後も期待される。
3	危機管理の観点から俯瞰した時に優先順位が見える化する訳で、それに沿って計画し、実行しているとは思いますが大変なご苦労があると思いますが是非妥協せず皆さんの協働で頑張してほしいと思います。

議事(2) 令和2年度 評価報告書(案)について

No.	御意見
1	<p>全体的には令和元年より評価が下がっている事業があり残念です。それらはコロナ禍で余儀なく実施できなかったことが大きいと承知していますが、しかし日頃からの市民サービスや他との協働事業では成果を図りにくいものではある為、例えば市民サービスではハザードマップを制作し配布しても、その理解度や実施訓練の体得成果指数などはいかがでしょうか。</p> <p>評価は80%から100%などと表記されているのは、とても理解しにくく、曖昧な気がします。掲示や配布だけではなく、ネットを活用したり、もう少し柔軟に細かな対面事業展開で市民の反応も掌握できそうに思います。</p>
2	<p>委員長のおっしゃったように、冊子が厚く内容も細かすぎて、誰が見てくれるのかなとは思いますが。</p>
3	<p>災害時などの対応や体制の確立の評価がAだったり全体の評価が良いのは努力の成果だと思います。</p>
4	<p>詳細にわかりやすくできております。</p>

議事3 令和3年度 委員提案の外部評価対象について

施策名	提案理由
政策1 施策(4)災害時などの対応や体制の確立	地震災害等異常時における対応（上水道における応急給水や、下水道における一次処理放流、施設の耐震化など）に関する取組が重要であると考えため。
政策1 施策(4)災害時などの対応や体制の確立	災害自体が大型化しており、BCPの充実・定着、活動拠点の整備については継続的にしっかり見ていく必要があると思う。
政策2 施策（2）施設の効率化	効率化については、毎年必要というわけではないが内部だけでなく外部の評価が必要であると思われるため。また効率化は財政とも関係するため。
政策3 施策(1)水環境の保護・改善	本施策では下水道計画区域内の整備や下水道接続戸数の増加等を目標としているが、本取組の詳細（現状）や効果を外部評価の中で説明していただくことで理解を深めたいと考えたため。また、目標が数値化され、達成度がわかりやすいため。
政策3 施策(1)水環境の保護・改善	
政策3 施策(2)温暖化対策	政策3 施策(2)内部・外部評価ともにB評価であること。中部電力と送電量増加について協議の内容を令和4年度も見届けたい。
政策3 施策(2)温暖化対策	現在、地震に対する対応や環境への、負荷を軽減する温暖化対策が重要であります。この施策は令和2年度評価が「B」であるため、令和3年度「A」にすべく努力して頂きたい。
政策3 施策(2)温暖化対策	環境への負荷を軽減すること（特にCO ₂ 排出量）は、世界的な課題であると思うから。

議事3 令和3年度 委員提案の外部評価対象について

施策名	提案理由
政策3 施策(2)温暖化対策	
政策3 施策(3)資源のリサイクル	資源のリサイクルは、第一回の時に下水処理場を見学した際に汚泥を燃料として加工し販売している話を聞き、興味をもった為。
政策4 施策(1)安全でおいしい水の安定的な供給	各事務事業において目標とされている「足久保配水場の完成」、「直結給水サービスの拡大」、「鉛製給水管の更新」等の効果について、協議会の中で説明いただくことで理解を深めたいと考えたため。（特に普段水道を使用されている市民委員のみなさんにご意見をいただくのが有効と考えたため）
政策4 施策(3)接客・窓口サービスなどの充実	政策4 施策(3)内部・外部評価ともにB評価であること。特に施策（3）③についてコロナ禍が落ち着いた時期にどのような推移したのか見届けたい。
政策4 施策(3)接客・窓口サービスなどの充実	これまでがんばってこられた地域貢献活動がコロナの影響を大きくうけてしまったことは残念。ずっと見ていきたいと思っている。
政策4 施策(4)市民参画の推進	市民の生活にとって重要なインフラである上下水道に関心を持ってもらい、現状を認識（安全な水を供給するための市としての努力や抱えている課題等）してもらうことで市に対する信頼や事業に対する協力、料金改定の際の同意も得やすくなると思うから。
政策5 施策(1)業務の効率化	政策5信頼される経営を確立するの施策1と2 技術継承の仕組みづくりと共に『おいしい安全な水』を維持するための知識、技術、更には関連会社との連携も含めた向上を目指すために色んな外部意見も反映して改善できるのではないだろうか。

議事3 令和3年度 委員提案の外部評価対象について

施策名	提案理由
政策5 施策(1)業務の効率化	効率化については、毎年必要というわけではないが内部だけでなく外部の評価が必要であると思われるため。また効率化は財政とも関係するため。
政策5 施策(2)職員の技術習得	政策5信頼される経営を確立するの施策1と2 技術継承の仕組みづくりと共に『おいしい安全な水』を維持するための知識、技術、更には関連会社との連携も含めた向上を目指すために色んな外部意見も反映して改善できるのではないのでしょうか。
政策5 施策(2)職員の技術習得	政策5 施策(2)内部・外部評価ともにB評価であること。コロナ禍で行われるオンライン化による研修化及びコロナ禍が収まった時の令和4年度の研修状況を見定めたい。
政策1 施策(1)重要な管・施設の地震対策【外部評価対象：戦略的に重要なもの】	毎日の生活はもちろん水の安全が一番大切と考えます。
政策1 施策(1)重要な管・施設の地震対策【外部評価対象：戦略的に重要なもの】	現在、地震に対する対応や環境への、負荷を軽減する温暖化対策が重要であります。この施策は令和2年度評価が「B」であるため、令和3年度「A」にすべく努力して頂きたい。
政策1 施策(2)浸水対策【外部評価対象：戦略的に重要なもの】	過去の災害が示すように浸水対策は人命を守る大切な対策だからです。
政策2 施策(1)管・施設の老朽化対策【外部評価対象：戦略的に重要なもの】	毎日の生活はもちろん水の安全が一番大切と考えます。

議事3 令和3年度 委員提案の外部評価対象について

施策名	提案理由
政策2 施策(1)管・施設の老朽化対策【外部評価対象：戦略的に重要なもの】	現在、地震に対する対応や環境への、負荷を軽減する温暖化対策が重要ですが、この施策は令和2年度評価が「B」であるため、令和3年度「A」にすべく努力して頂きたい。
政策2 施策(1)管・施設の老朽化対策【外部評価対象：戦略的に重要なもの】	老朽化問題は「待ったなし」と感じているので、引き続き評価対象としたい。
政策5 施策(2)職員の技術習得	職員の技術習得は、今後も今のすばらしい水を安心して享受できるようにするために、不可欠だと思うから。そして、その教育が今一つうまくいっていない様子であるため。

報告(1) 令和2年度 決算報告について

No.	御意見
1	内部留保資金の補填、未収金実績など適正な判断で修正していただき、事業が円滑に行えるようお願いいたします。
2	P 2 1 水道事業（2）中期財政収支計画と決算見込みとの比較 資本的収支の不要額が予算規模の大きい下水道事業と比べてもやはり大きい数字である。内容を精査すればいろいろ理由はあると思いますが予算計上にあたっては現状をしっかりと把握し、なるべく執行残を出さないような計画・実施をお願いしたい。
3	事務局まとめの案のとおりでよいと思います。
4	工事の着手の見送り、設計の見直しで大きな金額の変動があり私の能力では理解が追い付きません。大変な事業だなあとつくづく実感しますがもう少しわかりやすい表現で将来の展望を含め説明してほしいと思います。
5	現在のところ大変健全な経営をしておられる印象を受けました。 しかし、これから気候変動などの影響を受けることは必要だと思うので、緊張感をもって臨んでいただきたい。
6	内部評価の対策、自己評価、外部評価、意見まとめともに内容がわかりやすく、よくできております。

報告(2) 令和4年度 上下水道局当初予算編成方針について

No.	御意見
1	7つの重点項目ですが2の脱炭素社会の達成責任の遂行と7のSDG sの順番を並行させてもいいのでは？ 1, 5, 4, 2, 7, 4. 3の順ではないですか？
2	企業債残高を減らしていくように取り組んだほうが良いのではと思っています。
3	7つの重点項目6で説明があった担い手、技術職員の育成についてです。話題に上がった水道工事業界の技術者が減少していることは、今後入札が成立しなくなることに繋がると感じました。何とか対策が取れないものかと思いました。
4	来年度取り組むべき7つの重点項目の中で技術職員の育成は早急に取り組むべき課題だと思います。

その他ご意見・ご質問等

No.	御意見
1	<p>今年も“水”をめぐる様々な出来事があった。 静岡市南部は大雨が降る度に浸水対策が心配であったが、一方雨が少なく安倍川の水が枯渇してしまうのではと思うほどの時期があった。庁舎には渇水対策本部の紙が貼られ、局内部では水の相互運用により安定した供給体制を心がけて奮闘されていると思われた。</p>